

2009 環境シンポジウム

◆◆◆ 2010年環境行動計画目標達成に向けて ◆◆◆

趣 旨

「エコアクション21」では、地球に優しい低炭素社会の実現に向け、会員各社の環境配慮型商品の投入により、居住段階のCO₂削減を進める行動を2001年度から行っております。

この活動の一環として、今年も環境行動計画の2008年度目標管理調査実績結果と、会員各社の環境への取り組み事例の報告会を下記のように開催致します。

住宅事業者及び関連事業者をはじめ、一般の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時

平成21年11月12日 木曜日 13:00 ~ 16:45

会 場

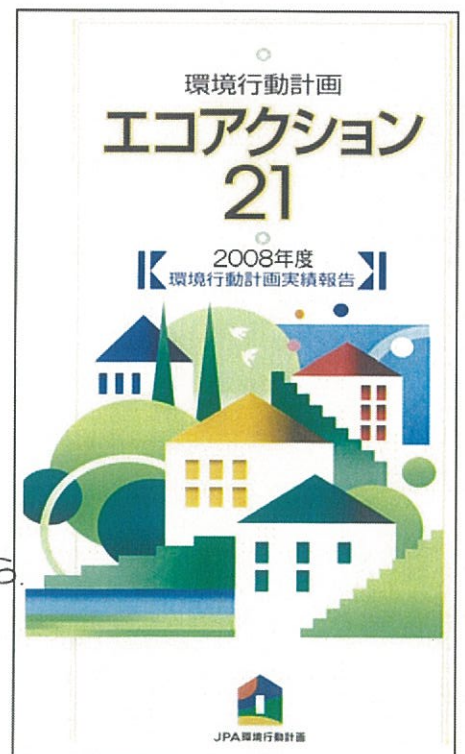
住宅金融支援機構 本店 すまい・るホール

特別講演

昨今の気候変動とともに資源や食糧、生物多様性といった世界的な環境保全活動の気運が高まっています。一方国内においては2010年10月に名古屋で生物多様性条約締約国会議(COP10)が開催され生物多様性にかかわる経済界の動きが活発になってきています。企業活動にとって生物多様性は、環境アセスメントや持続可能な森林経営などの側面と、原材料の安定調達などのリスク分散の側面、そして企業価値の向上といった波及効果があります。企業にとってはCSRと同様、今後持続可能な企業活動のための生物多様性という視点も大事であります。この様な背景から今年度の「環境シンポジウム」の特別講演は、生物多様性分野の第一人者である香坂 玲 先生にご講演をお願いしました。

スケジュール

- 13:00 ~ 開会のあいさつ
- 13:05 ~ 特別講演『生物多様性とCOP10』
名古屋市立大学 准教授 香坂 玲 氏
- 14:00 ~ 「2008年度エコアクション21」調査実績報告
- 14:30 ~ (休 憩)
- 14:40 ~ 各社 事例報告
 - (1) 大和ハウス工業(株)
「自然と調和した街づくり」
——— 街区まるごとCO₂削減 ———
 - (2) 積水ハウス(株)
「『エコ・ファーストの約束』とその取り組みから」
 - (3) ミサワホーム(株)
「次世代ゼロエネルギー住宅」
 - (4) 旭化成ホームズ(株)
「自然のリズムに寄り添う真に快適な住まい」
- 16:45 閉 会



講演者紹介

香 坂 玲 氏 (名古屋市立大学 准教授)

〔経 歴〕 2008年4月より名古屋市立大学准教授(経済学部付属経済研究所で環境マネジメント担当)。COP10 支援実行委員会アドバイザーの他、国連大学高等研究所の里山の評価などに参画。
 静岡県生まれ。東京大学農学部卒業。ハンガリーの中東欧地域環境センター勤務後、英国で修士、ドイツ・フライブルク大学の環境森林学部で博士号取得。
 2006年から2008年までカナダ・モントリオールの国際環境計画生物多様性条約事務局の勤務(農業、森林、持続可能な利用を担当)。

〔講演要旨〕 なぜ企業は、生物多様性に配慮し、責任ある行動が求められるのでしょうか。原材料の供給、発明や特許の材料、あるいは気候や病気の抑制を通じて、事業活動においても自然の恵みを利用しており、その源泉ともいべきものが生物多様性、すなわち、生き物の個性とそのつながり・バランスです。その生物多様性が今、急速に損なわれており、その主な原因は、人間の営みにあると言われています。

この問題については、生物多様性条約の枠組みで国際的な議論が行われており、その舞台は来年日本にやってきます。

こうした情勢を踏まえつつ、生物多様性の持つ意味や人間活動との関連性を再確認するとともに、生物多様性を損なわない、持続可能な事業活動や暮らしについて、考えてみたいと思います。

お申し込み・お問い合わせ

お申し込み 下記の「環境シンポジウム参加申込書」にご記入のうえ、FAXにて送信下さい。
 尚、定員(250名)を超えた場合は、お断りすることがございます。

参加費 1,000円(テキスト代)

お問い合わせ 社団法人 プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局
 TEL.(03)3502-9451 FAX.(03)3502-9455

住宅金融支援機構本店 1階 すまい・るホール ご案内図



(社)プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局 行

FAX.(03)3502-9455

「環境シンポジウム参加申込書」

平成21年10月30日までにFAXして下さい

会社名 (団体名)		TEL.	
氏 名		所属・役職	

(社)プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルB階